

高浜市の子どもたちがひとこと

小学校のときはやんちゃで、先生に怒られることもありました。中学校では、先生が試合のことなど関心を持って聞いてくれたのが印象に残っています。東邦高校を受けるときも相談にのってもらいました。

小学生は遊ぶことが大切だと思います。野球も、小学生は楽しくやって、野球が本当に好きになってどんどんうまくなっていくといいと思います。

中学生は勉強が大切になり、部活との切り替えが必要だと思いました。野球も小学校時代よりもっと本気になると思うし、練習もきつくなるけれど高校に向けて手を抜かずにがんばってほしいと思います。

夏の大会に向けて

春夏連覇できるのは僕らしかない！と思っています。夏も甲子園に行って優勝したいです！



▲市長を訪問。メダルを見せてくれました。

感動をありがとう！ 喜びの声

「自分もがんばってみようかな」と
思う子が増えたらいいと思います



杉浦元彦さん・恵理さん

杉浦選手所属当時の
高取ファイターズ監督でもある
父・杉浦 元彦さん

幼稚園ではサッカーをやっていましたが、私が野球好きなので、ひまさえあればキャッチボールをして遊びました。空手や書道も習っていましたし、野球の英才教育というのでは全然ありません。高取ファイターズで、私は指導者でしたが、ほかの子と同様、野球を楽しんで好きになってくれたらと思いついて見守っていました。2年生のときに4年生中心の試合で投手に選ばれたのは思い出深いできごとです。

高校1年生のとき甲子園のアルプススタンドで応援後帰宅して「僕は、来年かならずあのグラウンドに立つ!」と言いました。そこからまたぐっと変わったなと思います。ストイックに身体作り・自己分析をしています。選手としては、もう親から言うことは何もないかなと思うのですが、「感謝」の気持ちはこれからも大切にしてほしいです。1人の力でここまで来たわけではありませんから。

家では、どこにでもいる普通の子だと思います。名古屋まで自宅から通学していますが「住むなら地元の高浜市がいい、落ち着く。」と言っていますよ。

高浜市の子どもたちが「こんな先輩もいるんだ、自分もがんばってみようかな。」と思ってくれたら嬉しいです。

このまま突っ走って、
もう1度勝利を!
春夏連覇を期待しています!



愛知衣浦リトルシニア監督
島田 圭一さん(小池町)

中1で入団してきた彼の第一印象は、まだ小さくて細くて、打っても飛ばない…というものでした。ただ、守備は抜群でした。私が26年間指導してきたなかでも1番うまい遊撃手(当時のポジション)だったと思います。身体の使い方に天性のものがあるのでしょう。芯が強く志の高い彼ですから、努力を重ねて今の姿があるのだと思います。

私たちのチームでは高校生レベルの練習をします。中学生には辛いはずですが、ユニホームを真っ黒にしてがんばっていました。勇介君の世代は全国優勝も果たしました。「がんばれば報われる」経験を大切に、信じて続けてきてくれたなら嬉しいです。

東邦高校は守備も固いチームで攻守のバランスがととてもいい。ぜひこのまま突っ走って、もう1度勝利を。春夏連覇を期待しています!

キリッとした勇姿に感動



中学3年生当時の担任
島崎 裕史先生(南中学校)

勇介君は、クラスの書記も務め、周囲を見て自然に動ける生徒でした。東邦高校への進学相談を受けたときのことはよく覚えています。私も甲子園まで応援に行き、キリッとした姿と、一生懸命さに感動しました。これからもがんばってほしいです。